

かいけつゾロリ 盛況！

自主文化事業を開催しました

一日こども館長



【写真：任命式の様子】

文化会館の初の取り組みとして、「かいけつゾロリ」の公演開催にあわせ市内の小学4年生から6年生を対象に「一日こども館長」を募りました。予想を上回る多数の応募者の中から5人に任命しました。

当日は、入場口にてチケットのもぎりや場内アナウンス、ホール内での携帯電話マナーや、飲食禁止の注意事項の呼びかけなどを体験していただきました。

初めての経験ということで、緊張感が伝わる場面もありましたが、夏休みの最初の日曜日ということで、いい思い出になったのではないのでしょうか。

1日館長のみなさん、お疲れ様でした。

【写真：感謝状を手に】



【ひとこと】

～小林市文化会館について～
基本的に月曜日が休館日ですが、月曜日が祝日の場合は開館し、次の平日を休館日としています。

文化会館だより 第二号

令和8年9月1日
発行者
小林市文化会館
☎23-7400

ミュージカル
かいけつゾロリ
まほうつかいのでしゅ

七月二十六日(日曜)に、当館大ホールにて、「いたすけらぼうけんミュージカル かいけつゾロリ まほうつかいのでしゅ」公演を開催しました。

地方でミュージカルを鑑賞する機会はなかなか少ないこともあり、当日は四百名を超える方々にお越し頂きました。魔法をかけられた村人を救



うため旅に出たゾロリたちは、運よく魔法使いの弟子にはなれたが、いたすけらぼうけんをする始末。「カチカチふー」と魔法使いがランプに火を付けるとイシシ・ノシシが消す。繰り返されるコミカルなやり取りで会場の子どもたちは大爆笑。高さ約四mの目が光る巨大魔法使いが現れると、子どもたちが一斉にゾロリたちに危険を教え、応援をはじめる姿は微笑ましく、会場が一体となった瞬間でした。



また、おなら大砲の巨大なボールが客席に飛ぶとイシシ・ノシシが客席に降り、子どもたちもボールを追って大興奮！
終演後、出演者の心遣いによる握手会や写真撮影もあり、楽しかった！また絶対見たい！とたくさん嬉しい言葉をいただき、来場者の鑑賞マナーともあわせ、素晴らしい公演となりました。
出演いただきました、東京俳優生活協同組合の皆様ありがとうございました。



開催日：令和八年十一月八日(日曜)
開場：十三時三〇分
開演：十四時〇〇分
会場：大ホール

国指定
重要無形文化財
「組踊」特別鑑賞会

写真：伝統組踊保存会HPより

一般社団法人 伝統組踊保存会および沖縄県教育委員会の主催により、国指定の重要無形文化財「組踊」の特別鑑賞会を開催します。
「琉球歌舞伎」とも呼ばれる組踊は映画「国宝」のテーマとなった江戸や上方の歌舞伎とはまた違った舞台を鑑賞できる機会です。

沖縄に古くから伝わる舞台をぜひご覧下さい。入場無料ですが、入場整理券が必要です。

●整理券配布開始日
九月十五日(火曜)
午前九時より
●整理券配布場所
小林市文化会館
小林中央公民館
(おひとり様五枚までの配布となります。)

宝くじ文化公演

三浦祐太郎

アコースティックライブ

開催決定！

令和九年一月二十三日(土曜)、大ホールにおいて、歌手・俳優として活躍中の三浦祐太郎さんによる、アコースティックライブを開催いたします。

創刊号でお知らせした内容から進展がありましたのでお知らせします。

●前売券発売開始日時

十一月七日(土曜) 午前九時

●料金：二千五百円(当日券三千円)

※全席指定となります。

車椅子での鑑賞を希望される方は、チケット購入時に相談ください。

前売券が完売した場合、当日券の販売はありません。

●購入できる枚数はお一人様五枚までとし、未就学児の入場はお断りさせていただきます。

更なる詳細は、十一月十五日号おしらせに添付します。乞うご期待！



★この公演は、「宝くじ」の売上金から助成を受けまして特別料金で実施するものです。



第四十九回 小林市民音楽祭 第六十四回 小林市民芸能祭

開催迫る

毎年恒例となつていますが、小林市民音楽祭および小林市民芸能祭の開催日が近づいて参りました。毎年出演頂いている個人・団体様に加え、久しぶりの出演となる方々まで多くのご応募を頂いており、音楽祭・芸能祭ともに様々なジャンルからの出演となつていきます。

出演者の一覧は、十月一日の広報こばやしに添付します

【期日】第四十九回小林市民音楽祭：令和八年十月二十五日(日曜)

第六十四回小林市民芸能祭：令和八年十一月一日(日曜)

【開場】十二時三〇分(音楽祭・芸能祭 共通)

【開演】十二時〇〇分(音楽祭・芸能祭 共通)

※どなたでも無料で鑑賞できます。ぜひご来場ください。



避難訓練 消火訓練を 実施しました

実施しました

八月六日(木)火災を想定した避難訓練を実施しました。今回は、中央消防署の立ち会いの下、映画の上映中に、観客が所有していたモバイルバッテリーから発火したという想定です。

訓練において、不特定多数の来場者がある当館において、限られたスタッフで、火災発生時の避難の伝達方法・初期消火・消防署への通報・避難経路の安全確保・避難誘導の方法を確認し、被害者をゼロに抑えるための検討も行いました。

訓練後は、中央消防署より講評と助言を頂きましたので、今後の会館運営に活かしたいと考えております。

当館は消防法で義務づけられた訓練に加え、災害発生時・急病人の発生などに対応するため、自主的な訓練を行っておりますが更なる安全確保に努めて参ります。

【写真：訓練の様子】

